

3	2	0	0	4
---	---	---	---	---

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年3月30日
札幌市立北陽中学校

1 学校教育目標

「豊かに拓く」

考える人 ― 深く考え、積極的に学ぶ人

- ・自ら考え学ぶ生徒
- ・考えを深め課題を追求する生徒
- ・創造、工夫することを楽しめる生徒

きたえる人 ― 心情を豊かに育て、すこやかな身体をきたえる人

- ・困難に立ち向かうたくましい生徒
- ・苦勞を厭わない生徒
- ・心身の鍛錬に努力を惜しまない生徒

根気強い人 ― 使命と責任を自覚し、何事にも根気強く実行する人

- ・自覚を持ち責任ある行動をとる生徒
- ・自己実現に向け努力を惜しまない生徒
- ・けじめのある生活ができる生徒

助け合う人 ― 互いに人格を尊重し、進んでみんなのために努める人

- ・広い心で誰とでも分け隔てなく接する生徒
- ・積極的に発信できる生徒
- ・相手の身になって考えられる生徒

2 令和7年度の本校が重視する項目

- ・「自ら学ぶ・自ら考える・課題を解決する」学習活動を目指す
- ・共に認め合う心の育成を通し、自己有用感の充実を図る
- ・多様性を理解した学びの場の充実と相談支援体制を図る
- ・教育活動を通し、自らの心身の健康の保持・増進を図る

3 学校経営方針

多様な学びについて理解を深め、子ども一人一人を大切にする学校づくり

- 1 「自分が大切にされている」ことが実感できる学校づくり
- 2 生き生きと授業や諸活動に取り組み、多様な学びを通して成長できる学校づくり
- 3 全教職員が、専門職としての自覚と誇りをもって教育活動ができる学校づくり
- 4 保護者、地域から信頼され、連携して生徒の学びを支援できる学校づくり

4 学校経営の重点

- 1 札幌市学校教育の重点及び学校教育目標の具現化をめざした教育課程の編成と実践
- 2 発達への支援と生徒理解を基盤とした、信頼関係のなかでの生徒支援体制の確立
- 3 実践力を高めるための研修の充実
- 4 教育環境の整備充実と効果的な活用
- 5 教員間の相互理解と信頼に基づく学年・学級経営の推進
- 6 家庭や地域に開かれた教育の充実と信頼される学校づくり
- 7 教職員が心身の健康を保ち、力を発揮できる体制づくりの推進

(様式2)

5 自己評価結果

※自己評価結果：A…「十分である」 B…「おおむね十分である」 C…「不十分である」

※関係者評価：a…適切である b…どちらともいえない c…適切でない

	評価項目	自己評価	学校関係者評価		
		達成状況	改善の方向	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
1 札幌市学校教育の重点及び学校教育目標の具現化をめざした教育課程の編成と実践	1. 「学びの質を高める」教育活動の推進 2. 課題探究的な学習を通し、主体的・対話的に考え、判断し、表現する授業 3. 「多様な学び」の推進 4. 食育・安全に関する指導・健やかな体に関する指導	A	1. 効果的な生徒の資質・能力の育成を目指し、「学びの質を高める」授業実践の交流・評価の交流などから授業改善を行った。次年度も生徒の力を育む教育課程の編成や授業改善に継続して取り組む。 2. 生徒が主体的に取り組む授業を目指し、課題探究的な学習の在り方等の研修を行い授業改善につなげた。次年度も生徒が主体的に取り組むことができる授業づくりを行っていく。 3. 特別支援教育コーディネーターを各学年に設置し、きめ細やかな支援を目指した。また、学校外での多様な学びの場での学習の在り方について理解を深めた。生徒の多様性に対応するためにも次年度も継続して実践・研修を行う。 4. 熱中症対策など状況に合わせた指導・対応を行うことができた。パートナー校とともに運動機会の充実を図る環境整備事業に参加し、冬場の運動機会の増進に努めた。次年度も暑さ対策や運動機会の創出に努める。	a	a
2 発達への支援と生徒理解を基盤とした、信頼関係のなかでの生徒支援体制の確立	1. いじめ対応を含む生徒理解、生徒支援の充実 2. 相談活動の充実 3. 豊かな人間性、社会性 4. 学校行事・部活動を通して豊かな心の育成 5. 子どもが安心して生活できる学校づくり	A	1. 5. 健康観察アプリやいじめアンケートの結果、日常の生徒観察からいじめにつながりそうな事案を含め、柔軟にいじめ防止推進委員会を開催し、組織として対応することができた。今後も丁寧な対応を心掛けていく。 1. 2. 健康観察アプリの活用や教育相談旬間を確保し相談活動に力を入れたことが効果的であった。今後も生徒の思いに寄り添った相談や聴き取り活動を大切にしたい。また、個別の支援等は校内学びの支援委員会を中心に検討・支援することができた。今後も継続していきたい。 3. 4. 昨年度再編成した北陽祭は生徒が主体的に取り組む活動となった。スポーツフェスティバルが猛暑で中止となったので、時期を再考する必要がある。次年度も行事や部活動などを様々な体験や経験から豊かな心の育成を努めていきたい。	a	a
3 実践力を高めるための研修の充実	1. 学びの深まりを意識した授業づくり 2. 学習指導要領を踏まえた指導と評価、授業実践の研修 3. 特別支援教育の視点を踏まえた教育活動の研修	A	1. 2. 校内研修会で課題探究的な学習や多様な学びの場の保障を含めた評価の在り方について深めることができた。AARサイクルを意識した授業の在り方や評価について研修を続けていく。 3. 各学年の特別支援教育コーディネーターを中心に校内教育支援センターや校内学びの支援委員会と連携し、個々の生徒の特性に応じた支援と修正を行った。今後も継続していく。	a	a

(様式2)

	評価項目	自己評価	学校関係者評価		
		達成状況	改善の方向	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
4 実と効果的な活用 教育環境の整備充	1. 安心・安全な施設・設備の維持管理 2. ICT 機器の適切な管理・効果的な活用	B	1. 月の初めに安全衛生の日を設定し、校舎内等の破損・危険箇所の点検・補修に努めた。次年度も日常の点検に努め、安全で衛生的な教育環境を保持したい。 2. より効果的で積極的な ICT 機器の活用に努めるとともに、札幌市のガイドラインに沿って、個人情報や個人端末の取扱いに十分な留意をするよう研修を行った。今後さらに ICT 機器の効果的な活用や個人情報に対する管理の徹底を図りたい。	a	a
5 年・学級経営の推進 教員間の相互理解と信頼に基づく学	1. 学年間の連携 2. 互いに認め励ましあう集団を目指す学級経営	B	1. 校務支援システム等を活用した情報の共有はある程度定着しているものの、即時的な連携が必要な場面もあるので、情報共有の在り方をさらに工夫する。 2. 行事だけでなく、日常的な方策から自己有用感の向上を目指し試行した。引き続き、互いに認め励まし合う集団を目指した活動を行っていく。	a	a
6 の充実と信頼される学校づくり 家庭や地域に開かれた教育	1. 積極的・効果的・効率的な情報発信 2. 家庭や地域との連携 3. パートナー校との連携	B	1. 2. 学校 HP で活動の様子を掲載したり、メール配信アプリを活用して保護者向けの案内文書を配信したりすることも定着した。HP に古い情報が残っているので、次年度 HP のリニューアルに努めたい。 3. 次年度からのコミュニティ・スクールの開設に向け、パートナー校との連携を深めた。教職員、生徒、保護者、地域にその理念と理解についてさらに深める必要がある。次年度は啓発活動を進めるとともに、本校区の子童生徒にとって有益で、持続可能な取組を模索していきたい。	a	a
教職員の働きやすさや健康を 保ちつつ業務改善の推進 ための業務改善の推進	1. 働きやすい職場環境 2. 業務の見直しと効率化 3. 業務での ICT 機器の効果的な活用	B	1. 計画的に休養や検診が取れるよう、申告しやすい雰囲気づくりに努める。 2. 3 随時業務の見直しを行いながら進めてきたが、今年度は札幌市のネットワークが更新され大きく仕様が変わり、効率化を図るのが難しかった。新システムの利点を生かした業務の効果的で効率的な活用を模索したい。	a	a
学校関係者評価者による意見	・教育目標と学校経営をしっかりと推進している。そのような取組が保護者だけでなく、生徒にも伝わっていることが生徒・保護者アンケートからも窺える。 ・生徒アンケートと保護者アンケートを比較すると、生徒の方が学校に対する満足度が高い。学校経営や教職員の努力によるものと考ええる。 ・生徒アンケートから、他者を尊重したり、他者のために貢献したりすることに対して非常に肯定的に捉えていることがわかり、良い人間関係を土台とする集団が築かれている。計画性に係わる項目が若干低い傾向にあるので次年度取り組むのが望ましい。 ・生徒アンケートから計画性や物事に挑戦する姿勢が学年を進むごとに高くなる傾向が見られる。生徒の意欲や意識を高める教育が推進されていると考える。 ・生徒・保護者アンケートから非常に高い割合で肯定的な回答を寄せられている。教育目標に対する教職員の努力が成果とみられるが、その分負担がかかっていることが懸念される。「一人一人が大切にされている」と実感できる教育の実現のためにもゆとりを生み出してほしい。				